

<平成 28 年度秋季大会ミニシンポジウム>

日本の野生メダカの保全と新たな課題
-個体群減少と遺伝的攪乱-

日時・場所：平成 28 年 9 月 8 日（木） 13：00-16：20 近畿大学農学部

企画責任者：北川忠生（近大農）・小林牧人（ICU）

13:00-13:05 開会の挨拶 北川忠生（近大農）

座長：細谷和海（近大農）

13:05-13:30 1. 日本の野生メダカの保全が抱える諸問題 北川忠生（近大農）

13:30-13:55 2. 野生メダカの繁殖生態と保全 小林牧人（ICU）

13:55-14:20 3. 日本の野生メダカ集団における遺伝的攪乱の現状
中尾遼平（近大農）

14:20-14:40 休憩

座長：小林牧人（ICU）

14:40-15:05 4. 東日本大震災後の仙台市における野生メダカの保全

棟方有宗（宮城教育大）・
田中ちひろ（八木山動物公園）・
小林牧人（ICU）

15:05-15:30 5. 野生メダカの保護への提言 細谷和海（近大農）

15:30-16:15 総合討論 座長：北川忠生（近大農）

16:15-16:20 閉会の挨拶 小林牧人（ICU）

企画の趣旨

日本の野生メダカ（キタノメダカとミナミメダカ）は絶滅の危機に瀕する一方で、ヒメダカなどの養殖品種は観賞魚、実験動物、教育教材として利用されている。日本の野生メダカを本来の姿で守っていくためには、野生のメダカと

養殖品種のメダカをしっかりと区別し扱っていく必要がある。本ミニシンポジウムでは、現在、国内で起きている野生メダカの問題とその解決に向けた提言を実際の研究事例、実践事例とともに紹介し、議論する。